

平成30年7月4日

## 2018年度総合資料学第1回地域連携・教育ユニット研究会のご案内

このたび、福島大学と国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市）が研究・教育・社会貢献等で連携を進めていくことになり、その一環として研究会を開催いたします。

地域における調査活動をテーマとして、調査活動がもたらす地域連携の可能性や学生教育の効果について各地の実践事例を共有し、歴史文化を通じた地域社会と大学・博物館等の関わり方や人材育成の課題と可能性について議論します。

日程：7月15日（日） 13:30～17:00

会場：福島大学行政政策学類棟2階 大会議室（福島市金谷川1）

主催：国立歴史民俗博物館「総合資料学の創成と日本歴史文化に関する研究資源の  
共同利用基盤構築」研究プロジェクト

後援：福島大学行政政策学類、ふくしま歴史資料保存ネットワーク

備考：入場無料・お申し込み不要でどなたでもご参加いただけます。

### 【プログラム】

13:30 開会

13:30-13:40 開会挨拶 中井勝己（福島大学学長）  
久留島浩（国立歴史民俗博物館館長）

13:40-13:45 趣旨説明

13:45-14:15 報告1：天野真志（国立歴史民俗博物館）  
「地域調査活動を想定した「現地資料保存論」への展望」

14:15-14:45 報告2：阿部浩一（福島大学行政政策学類）「歴史資料調査から総合資料  
学への可能性 福島県での取り組みを例に」

14:40-15:15 報告3：竹原万雄（東北芸術工科大学）「現地での古文書整理活動と歴史  
学教育 岩手・宮城・山形地域での実践活動から」

15:15-15:45 報告4：加藤幸治（東北学院大学）「津波被災地での「復興キュレーショ  
ン」と社会関与型の民俗調査 宮城県・牡鹿半島での実践から」

15:00-16:55 総合討論

・司会：天野真志

・パネリスト：阿部浩一・竹原万雄・加藤幸治

16:55-17:00 閉会挨拶 西谷大（国立歴史民俗博物館副館長）

（お問い合わせ先）

行政政策学類教授 阿部 浩一

電話：024-548-8318

メールアドレス：abe@ads.fukushima-u.ac.jp